

2月5日
知事選

大增税、医療も介護も負担増...

そのうえ県政では県民いじめ



民主長崎県政をつくる会
代表世話人
日本共産党推せん

高村あきら

「小泉改革」は年金・医療・介護など大改悪を国民に押しつけています。こんな時こそ、県政は、県民のくらしと命を守り支えることが大事ではないでしょうか。

私は、宝の海・有明海と自然を守るために力を尽くしてきました。排水門を開けて中長期開門調査をおこない有明海の再生をめざします。諫早湾干拓や新幹線よりも、未来をにやう子どもや県民のくらし、平和憲法を大切にす県政にします。

ご支援をころからお願いいたします。

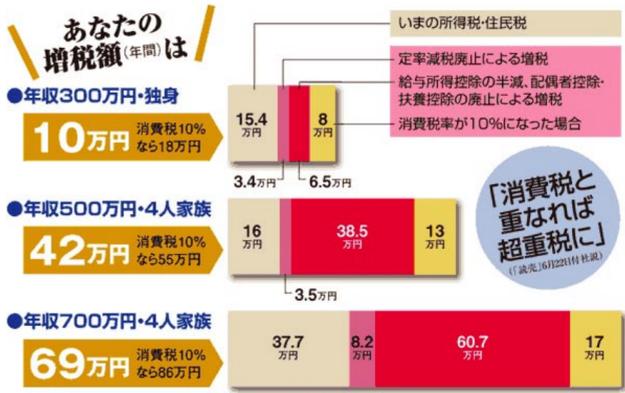
プロフィール

- 1940年生まれ。県立大村高校から広島大学文学部卒業。
- 大学卒業後、社会科教師として、諫早高校、西彼杵高校、県立ろう学校などで29年間教鞭をとる。
- 1997年、長崎県高等学校教職員組合委員長(4期)。
- 2001年退職し、諫早湾の干潟を守る長崎県共同センター代表として、有明海再生の運動の先頭に。2002年知事選に立候補。
- 現在、有明訴訟を支援する長崎の会事務局長、民主長崎県政をつくる会代表世話人。
- 大村市在住。家族は妻。

くらし、子ども、憲法を守ります

長崎の教育に尽くして30年

年明けから連続する大增税



この10月から大幅な負担増となった介護保険。年金は減らされ、掛け金は毎年引き上げられています。さらに年明けからは、定率減税が半分に減らされ、庶民増税が始まります。07年には消費税引き上げも企まれています。国民に痛みだけを押しつける「小泉改革」に、多くの県民が悲鳴を上げています。

県政は こんな時、県民の暮らしを応援するのが地方自治本来の仕事です。ところが金子県政は、県民に犠牲ばかり押しつけています。

長崎で相次ぐ「少年事件」競争あおる教育に県民の批判

国連は「過度の競争教育が子どものストレスに」と二度の勧告を日本に出しました。しかし長崎県では、中学・高校の入試が「競争を強める」方向に改悪されました。その直後から子どもの事件が相次いで起こり、多くの県民が心を痛めています。

くらし・営業をバツサリ敬老祝金は13分の1に

以前は6万人に対し2億5千万円支給されていた敬老祝い金。これを知事は4500人に5600万円と、バツサリ削ってしまい、多くのお年寄りの楽しみを奪ったのです。

県立高校は次々廃止

地域みんなが存続を望んだ7つの県立高校。ところが金子知事は聞く耳を持たず、長崎式見、長崎南商業、諫早高来分校、西陵東長崎分校、有馬商業などの高校を廃校に。



廃校になる長崎式見高校

授業料31年連続値上げ

庶民の所得は下がりつづけているのに、県立高校の授業料は31年連続引き上げで、今は月9500円に。県立看護学校の授業料は一気に42%も引き上げられました。

農業改良普及センター廃止

農業改良普及所は4カ所、水産改良普及所は3カ所削減されました。高等技術専門学校は5校が2校に。地場産業を支える大事な施設がドンドン削られています。「指導員がすぐ来てくなくて農作業の予定が立たず困る」という声も。

一方 諫早湾干拓は海をダメにしただけでなく、まだまだ続くムダづかい

県民の暮らしそっちのけなのに、ムダな諫早湾干拓は推進。「99%工事が済んでいるから完成しかない」と言いますが、とんでもありません。

たとえ完成しても、有明海はますます魚が獲れない海になり、調整池の水質浄化のために、今後莫大な税金投入が必要になります。さらに「農地のレンタル」と称して、多額の県費をつぎ込もうとしています。

国政では「二大政党」、県政では「オール与党」で悪政をすすめています

請願項目	県議会での各党の態度					
	議会	自民	民主	公明	共産	
諫早湾干拓の開門調査を求める請願	05年12月	●	●	●	○	●
首相の靖国神社参拝中止を求める請願	05年6月	●	●	●	○	●
少人数学級や私学助成の充実を求める請願	04年12月	●	●	●	○	●
諫早湾干拓や新幹線を推進し、敬老祝い金の削減や高校授業料引き上げにも、みんな賛成し、金子知事を後押ししています。	03年9月	●	●	●	○	●
公共事業受注企業の政治献金の禁止を求める請願	03年9月	●	●	●	○	●
消費税の改悪を凍結し、増税中止を求める請願	03年9月	●	●	●	○	●

○は賛成 ●は反対

ぜひ
おこし下さい

「民主県政をつくる会」 演説会

とき●2006年1月15日 午後2時
ところ●長崎市民会館文化ホール

話す人

「つくる会」代表世話人 高村あきら
日本共産党参議院議員 仁比そうへい

政策は
ウラ面を
ご覧下さい

こんな政治を 変えてしまおう